吉野ヶ里町立東脊振小学校　学校だより　第１５号

ひびきあい

学校教育目標
「やさしく かしこく たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとする子ども」
の育成

令和8年11月13日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする
アップデートしよう（未来を創る子どもたちのために）

秋の深まりを感じます　紅葉が見ごろに向かう…



学校の桜の木は、紅葉が進み、散り始めているものもあります。学校の窓から見える山も、ところどころ赤くなったり黄色くなったりして、秋を感じます。

先日の「吉野ヶ里町合併 20 周年記念式典」では、東脊振小中学校で読み聞かせをしていただいている「ましろの会」が、教育功労賞を受賞されました。「ましろの会」の皆様には、月に３回、朝の時間に、低・中・高学年と日を替えて読み聞かせをしていただいています。自分からはなかなか本を読まない子供たちの中にも、読み聞かせを楽しみにしている子がいます。活動を始めて 26 年、長い間、子供たちのためにご尽力いただき、本当にありがとうございます。そして、このたびの受賞、おめでとうございます。



愛でいっぱい　見えないところでも…

東脊振公民館より、うれしい連絡がありました。次のような内容です。

毎週水曜日は、バスで下校する児童のために、バスの待ち時間にホールを貸し出しています。今日（11月４日）は、その子たちが最後にモップ掛けを熱心にしてくれました。とても感心しました。お家の方からのアドバイスもあったようですが、すばらしい行動でした。「使用した後は、使用する前よりも美しく」とよく言われますが、それを実行できることはすばらしいです。きれいにする理由は、次に利用する人のためです。つまり、次の人を大切にする、愛でいっぱいの行動です。私たち教職員の目の届かないところでも、このような愛でいっぱいの行動をしている子供がいることを、とてもうれしく思います。

稲刈り体験　手で刈ってみると…



10 月 30 日に、石動農産のご協力のもと、５年生が学校近くの田んぼで稲刈りを体験しました。黄金色でたわわに実った稲を前に「刈るぞ」という意気込みが感じられました。順番に刈っていきましたが、どんどん進んでいくグループもあれば、なかなか進まないグループもありました。田植えの際は、ぬかるんだ土に喜んだり、気持ち悪がったりと反応はさまざまでしたが、今回は、稲がさくっと切れる気持ちよさを感じることが多かったようです。刈った稲は、やがてお米になり、そのうち子供たちのもとへと届けられることでしょう。新米のおいしさを味わってほしいものです。



多様な学び支援ガイド　佐賀県教育委員会より…

佐賀県教育委員会が作成した。ガイドブックのメッセージと URL を紹介します。

毎日子育てに関する様々な思いを抱えながら過ごされていることと思います。そんな中、お子さんが登校しない、したくともできない状況になり、どのように子どもに接したらよいのか、どのようなところに相談したらよいのか悩みながらも、誰にも相談ができずに不安に思うことはありませんか。そんな時は、一人で抱え込まずに、ぜひ相談してみてください。学校はもちろん、県内には様々な関係機関等があり、相談や支援を受けることができます。この資料では、そのような学校内外で受けられる支援や様々な相談窓口を紹介しています。誰かに相談することで保護者の皆さんの不安な気持ちが少しでも和らぎ、子どもの状況に応じた支援につながることを願っています。https://www.saga-ed.jp/shidou/img/tayounamanabi.pdf